

機能クラスの4年生・大学院生アンケート (H19, 7)

コース分けで機能クラスを「第一志望」にした理由は？

- ・ 応用化学は物理学、生物学、環境科学などの様々な分野とのつながりがあり、機能教室では化学の分野だけにとどまらず、これらの分野と直結したより幅広い知識が習得できると思ったから。
- ・ 一番化学っぽかったから応用化学を選びました。機能クラスは研究分野のバランスが取れてそうだった。
- ・ 機能性を持った分子を作ることにひかれました。
- ・ 機能は研究分野が幅広い。1年生時は何をやりたいか決断できなかったので機能にした。
- ・ その時はまだ好きな or 勉強したい分野がはっきりしていなかったので、物質科学工学科の中で一番広い研究分野（有機・無機・高分子・生体関連 / 合成・分析）がある応化機能コースを選びました。
- ・ 一番厳しいと言われている機能コースなので、自分の勉強になると思い選んだ。
- ・ 無機・有機・分析などの様々な研究室があり、選択の幅が広いと考えたから。
- ・ いわゆる化学実験が好きだったので、応用化学にしようと思っていた。機能は合成してからの評価重視というイメージがあった。
- ・ なにか新しい材料の合成をやってみたかったため。
- ・ 大学には勉強するために入ったのであって、機能クラスは研究のアクティビティが高く、さらに他のクラスと比較して所属している研究室の研究領域が幅広く、多くのことを学ぶことができると考えたため。
- ・ 機能は無機（材料）から有機まで幅広いので、さらなる選択肢が幅広くなるという理由で選びました。
- ・ 研究分野が幅広いから。材料とか無機とか有機とか光科学。進路分け時に、私はただの1年生、将来のことはまだわからなかった。それで幅広い分野を選んで、後で自分の将来をゆっくりしっかり考える。
- ・ 私は入学当初から、『製品化をめざした化学研究』に興味がありました。当初から化学を専攻したいなと思っており、工業的応用に近そうだという観点から機能にしました。
- ・ 地球環境問題を改善するようなことがしたくて、そのような研究室が機能クラスだったから。
- ・ コース分けの時には、まだ具体的にこの研究室に行きたいという希望がなかったのですが、機能の中には様々な分野の研究室があって、楽しそうだったので希望しました。
- ・ 化学の基礎的なさまざまな分野を幅広く受講でき、専門分野に向けての基礎学力を得ることができると感じたから。
- ・ 無機系・有機系・分析系・理論計算系・生化学系・高分子系と1つのコースで多岐にわたることを行っていることに魅力を感じた。実際に研究室選択時にもじっくり考えることができた。

機能クラスの学生実験は「分野の幅が広く、実験量も多く大変だ」という声をききますが、大変なだけでしたか？

- ・ 経験したことのない分野の実験ができたので良かったです。自分の興味がなかった分野であっても、実験を通してその面白さを知ることができたと思います。また、実験で機能クラスのみんなと協力しあったことで、より仲良くなれたと思います。
- ・ 有機のみならず、無機、レーザーなど幅広くできるので、飽きない。
- ・ テキストが充実していて、説明も詳しかったので、実験に積極的に取り組むことができる点です。
- ・ 修士になった今、思い起こしてみると学生実験の幅広い知識と技術が今の自分の基盤となっています。
- ・ 各研究室と学生との距離が近いこと。
- ・ 有機・無機・分析など多岐にわたる分野の学生実験があり、各学生実験でそれぞれ諮問、レポートもあり、将来自分が入る研究室以外でも基礎知識がつく。
- ・ それぞれの研究室の特色が出た実験が行えるので、自分の興味のある分野に到達することができること。
- ・ 分野が偏っておらず、幅広い実験を経験することができる。
- ・ まず、学部生の間で昔から「機能クラスの学生実験は他のクラスよりもきつい、大変だ」という噂がある。しかし今ではそれは違って、他のクラスとそれほど大変さは変わらない。と言っても、実験内容が薄いわけではない。機能クラスの学生実験では幅広い領域を実習できるため、科学の研究において必要な基礎的な実験技術を効率よく学べる。ここが評価できるポイントだと思われる。しかし、実験内容が幅広く濃いために理解するのが難しく、教える側 (TA) は実験の目的や内容、そして魅力をより具体的かつわかりやすく学生に説明してあげなければいけないと感じている。
- ・ 他コースとの比較はできませんが、機能の実験は、1) 幅広く、充実している、2) やさしくて面白い TA が多い。3) クラスのみんなと仲良くなれるなどが特徴だともいいます。
- ・ 学生実験は化学系学生としての基礎能力を培う大事な機会なので、様々な分野の基礎的な実験が体験できるのは貴重でした。
- ・ 「薬品を混ぜたらこうなりました」だけで終わらないところ。SEM や NMR 等、分析機器を実際に使えること。
- ・ 他のコースと比べると多少きつい内容だったかもしれないが、このような経験は必ず生かされると考えているので、各研究室の実験が行えてよかったと思っている。
- ・ さまざまな分野の実験ができ、研究室を選択する際に参考になった。
- ・ 実験の殆どを TA の方々の手助けなどのおかげで自分でできること、失敗も多かったですが、学生実験で身につけた操作は現在の研究でも役に立つことが多いです。また、TA の学生さんや先生方と話す機会も多く、進路の選択の際の参考になりました。
- ・ 最新の研究分野に触れられる点。(高機能な分子や実際に使われている指示薬の合成など)有機の教科書に出ている反応を実際に行う機会がある点。最新の測定装置を利用できる点。
- ・ ハードスケジュールだけど、その分レポート作成能力も身に付きました。

機能クラスの長所としてアピールしたい点があれば、自由に書いてください

- まだ1年生のうちに、どのような研究が行われているのか充分には理解できないと思う。機能ではさまざまな研究室があり、自分のやりたいことができる。
- あまり分野を限定せずに就職活動ができる。実験時間が長い分、生徒同士仲良くなり易い。
- 合成などをしたいなら機能がいいと思います。どの研究室も仲良く楽しいと思います。
- きついこともあります。それ以上に楽しさや喜びがたくさんあります！他では、この感じは味わえないんじゃないかなあ。研究室に入って、本格的に実験をはじめると、毎日充実した生活を送っています。まだ、何がやりたいかはっきり決めていない人も、機能ではきっと何か自分のやりたいことが見つかるのではないかと思います。
- 幅が広いので、2-3年次の講義や実習を通して行きたい研究室が熟考できるという点です。
- 他の所を良く知らないのですが、就職は楽なのではないでしょうか。
- 就職できる企業の分野が幅広いと思う。
- 就職のバックアップが（非常に）しっかりしていること。学科自体の歴史が古いので、産業界に数多くの同窓生の先輩がいること。
- 機能は幅広い分野が覗けるので、何が本当に好きか吟味できる。
- （就職希望の学生へ）就職は非常に良いと思われる。また、研究活動は大変ではあるが、将来就職するにあたって、職場は研究室以上に厳しいものだと思うので、学生のうちにしっかりと鍛えられたほうが就職してからうまくやっていけるはずである。（研究希望の学生へ）各研究室の教員は非常に研究に熱心で、施設もそろっているので研究環境としては非常によい。
- 1年生で、本当にやりたいことを見つけるのは難しいことです。選択肢の多い機能コースでは、幅広い内容の講義、実験を体験しながら、じっくり時間をかけることができるので、やりたいことが見つけれられます。
- 学生同士の仲が良く、和気あいあいとした雰囲気がありながらも、勉強や実験には真面目に取り組む学生が多いので、いい刺激になる。特に、研究室配属後は専門的な知識が深く学べるため、化学の面白さがわかってくる。
- 化学の面白さを日々体感できる。実験設備・環境が非常に長けており、最先端に立った研究が出来る。
- 教員は若い人が多いため、これからますます大きくなっていけるコースである。また、ナノテク、バイオ、環境、情報、エネルギーなど多様な専門領域をカバーしているため、「化学者」ではなく「科学者」として成長していける。
- 卒研発表や大学院の諮問では、機能の幅広い分野の人にプレゼンテーションをしなければなりません。この経験は就職の面接時にとても役に立ちます。
- 研究室が類似した研究をしておらず幅広いので、機能コースに分かれた後でも自分の進路をある程度選択できた点が良いです。
- 九大のなかでも、トップクラスの実績と知名度
- ある程度近い将来に社会に反映できるような研究ができるのではないのでしょうか。それが機能コースだけの特長かどうかはわかりませんが。

- 機能クラスに研究テーマはそれが何に使用されるのか、ということが明確であるような気がする。よって自分が考えたモノが世の中に広まって、多くの人に利用されたと思う人は、機能クラスが良いと思う。
- 役に立ちにくい(実用に結びつきにくい)研究を行っているわけではなく、かつ化学の魅力が十二分に感じられる点。
- 幅広い分野の研究室が集まっているので、自分の学びたいことがきっとみつかると思います。
- 機能は研究室によってやっていることが全然違うので、きっとやりたいことをやっている研究室がある。
- 「時は金なり」の真意がわかる。「石の上にも三年」。ゆかいな人が多い。
- 研究実績がすごい。大型予算等の研究費も多い。